

つるたよあ
鶴田義明さん

つるた自然塾主宰。自然観察指導員や森林インストラクター、ネイチャーゲームインストラクターなどの資格を生かして、自然体験教室などをこれまで550回以上、約2万5,000人に向けて指導。



pocket

春の草花を観察してみよう!



ホトケノザ

花の形が面白く、葉っぱが仏様の座布団の形に似ていることからその名が付いたといわれています。春の七草のホトケノザとは別物※です。
※春の七草は「コオニタビラコ」というキク科の植物です。



タンポポ

咲いている花と、綿毛になったものでは、茎の長さが違います。綿毛の茎が長く伸びているのは、風にのせて種を遠くまで飛ばすため。自然の「種の保存」の力かってすごいですね。



オオイヌノフグリ

あちらこちらに咲いています。名前の由来は、花が枯れた後の実の形から。意味を調べてみると、ちょっと盛り上がりますよ(笑)。



ハコベ

小さくてかわいい白い花が特徴。花びらは何枚あるでしょうか。10枚?5枚?ルーペを使って花びらを見てみましょう。実はかわいいハート型をしていますよ。



シロツメクサ

四つ葉のクローバー探しはみんなが楽しめます。親子で探してみましょう。そしてひと房に見える花は、実は小さな花の集合体。ルーペで覗いてみましょう。

豆知識たくさん!

子育て ぽけっと

専門家から子育てに役立つ
ポイントを教えてもらいます。

カンタン自然遊び編

①

外に出て、自然の中で
発見しよう!

植物の息吹を感じる春が到来。私は自然観察会などを行うときには、「育む春」「輝く春」「つながる春」という言葉を使います。春は「見て」「味わって」「におって」「触って」「聞いて」という五感を使って、「命」を感じ取ることが出来る季節だと思います。

まずは、大人が楽しまない子どもと一緒に楽しめません。花の名前を知らなくても大丈夫。ルーペ(虫眼鏡)を片手に出掛けてみましょう。

バック
ナンバーは
こちら▶



子育ての情報が
盛りだくさんの
「CHEER! days」はこちら▶



つるたよあさ
鶴田義明さん

つるた自然塾主宰。自然観察指導員や森林インストラクター、ネイチャーゲームインストラクターなどの資格を生かして、自然体験教室などをこれまで550回以上、約2万5,000人に向けて指導。



豆知識たくさん!

子育て ぽけっと

専門家から子育てに役立つ
ポイントを教えてもらいます。

カンタン自然遊び編

②

植物の意外な一面を見つけよう!

植物には、蜜を出したり、においを放ったりするものがあります。実は、植物は蜜を目当てに寄ってくる虫の力を借りたり、においで虫を避けたりしているんです。また、身近な植物の中には、生薬として使われているものも。今回紹介している中で2つの植物は、乾燥させることができます。飲んでみると、生の状態のときと、印象が少し違うかもしれません。見て楽しむだけではなく、実際に味わってみることで、意外な一面に触れることができます。そうすることが子どもたちの「想像力」を刺激することにつながります。そして、もっと自然が身近で、面白いものになりますよ。

〈注意〉

校庭や公園の樹木は害虫対策のため消毒をしている場合があります。蜜を確かめる場合には事前に確認しておきましょう。

味わったり、
香りを感じたり
してみよう!



サクラ

葉の付け根にある突起をなめてみるとほのかに甘さが。サクラは、蟻と共生関係にあるといわれています。この突起(花外蜜腺)の蜜を目当てに寄ってきた蟻に葉についた蛾の幼虫やその卵などを食べてもらうことで葉を守っています。



ツツジ

花を観察すると、水しぶきのような模様が。実はこの模様、蜜のありかを教えているガイドラインです。ツツジの蜜は、模様の部分にある溝の奥だけに溜まっているのです。そっと舐めてみましょう。



ヨモギ

道端などに生えていて、古くから親しまれてきました。葉を手で叩くと、ふわっと香りが広がります。葉の裏の白い毛は、お灸の「もぐさ」に使われています。乾燥させれば、お茶になるので、作って飲んでみましょう。



ドクダミ

日陰の湿ったところに生えていて、強い香りが特徴。ヨモギ同様、生薬としても使われていて、古くから親しまれています。葉を乾燥させればお茶として楽しめるので、摘んで干して、飲んでみましょう。生よりも香りは強くないかもしれませんが。

バック
ナンバーは
こちら▶



子育ての情報が
盛りだくさんの
「CHEER! days」はこちら▶



つるたよあ
鶴田義明さん

つるた自然塾主宰。自然観察指導員や森林インストラクター、ネイチャーゲームインストラクターなどの資格を生かして、自然体験教室などをこれまで550回以上、約2万5,000人に向けて指導。



pocket

体験がコミュニケーションに!

植物や虫は生きています。命あるものを大切に作る気持ちをお忘れないようにしましょう。葉を使って遊ぶのは少しだけにする、虫を元のところに戻してあげる、など心掛けてください。

「どうしてそんなふうになっているのかな」と考えることが子どもの探求心や、親子のコミュニケーションを育むことにもつながりますよ。

*植物や虫によっては、触れることで皮膚に炎症を起こすものも。かゆみを感じたり、赤くなったりした場合には、触らずに医師に相談してください。

とげを持った植物、虫や巣など、実際に触れることで、新しい発見をすることが出来るかもしれません。親子で一緒に植物や虫に触れて、感想を話してみましよう。

身近にある植物や虫の中には、見たことのあるものの、その働きや特性などをよく知らないものがいくつもあります。

外に出て、植物や虫に触ってみよう!



豆知識たくさん!

子育て ぽけっと

専門家から子育てに役立つポイントを教えてもらいます。

カンタン自然遊び編

③

アザミ



葉がチクチクするアザミ。1つの花に見えますが、実は小さい花の集合体。そっと触ると花が動くのを知っていましたか? 自家受粉できないので、虫が寄ってきたら動いて受粉できる仕組みになっているのです。そっと触って確かめてみましょう。

オオバコ



しっかりした筋のある葉と茎を持つロゼット状※の草。見つけたら、葉の茎と茎で引っ張り相撲をしてみましょう。葉脈の数は繊維の数と同じ。茎を折ってみると、多くの繊維が入っているのが見えます。相撲で勝つには、繊維が太いものを見つけたのがコツですよ。

※ロゼット状…地表から放射状に葉っぱが広がっている状態。

くもの巣



よく見られるくもの巣。霧吹きで水を掛けてみると、その姿がくつきりします。虫を捕えるためのよこ糸と、巣を支えるたて糸、どちらも同じように見えますが、触ってみると、違いがわかります。そっと触れてみましょう。

ダンゴムシ



なんでも食べるダンゴムシ。ブロックの下にいるものはブロックを食べています。手の平にのせてみると丸くなりますが、すぐに動き出します。紙コップに入れて耳を近づけると、動く音がよく聞こえて面白いですよ。

バック
ナンバーは
こちら▶



子育ての情報が
盛りだくさんの
「CHEER! days」はこちら▶

